

日程 平成 30 年 4 月 28 日～29 日（西日本）笈ヶ岳

4/28 金沢駅＝中宮温泉ビジターセンター登山口ー主稜線直下（泊）

4/29 主稜線直下ー冬瓜山ーシリタカ山ー笈ヶ岳ー冬瓜平ー中宮温泉ビジターセンター登山口＝金沢駅

撮影者 笠原

4/28



←01 中宮ビジターセンターから

今日からゲートが解放され、中宮ビジターセンターまで車で入ることが出来た。約 1 時間の車道歩きを端折ることが出来た。



02 ジライ谷 沢の渡渉→

雪解け水で激流となっているという前情報に心していた第一の核心部。想像していたよりも川幅もなく無事に渡る。



←03 きつい急登の連続

渡渉の次は藪漕ぎと急登の連続。重いテント装備を背負って、クライミングでもしているかのような急登。身体全体を使って登る。



04 花々が彩る→

大岩からは急登が少し落ち着くが藪はずっと煩い。タムシバや可憐なイワウチワが登山道の傍を彩り和む。



←05 本日の幕営地

平らな雪のあるテント場に適した場所を見つけ、今日の幕営地とする。風もほとんどなく寒さに震えるようなことは無かった。

今日は満月。明るい月と星空も楽しみつつ就寝。



←06 まだ藪漕ぎ？！

テント場からはアイゼンを履いて出発しましたが、登り始めは藪漕ぎ。今年はどうやら雪が少ないようです。



07 雪原を行く→

程なくして雪道に。

強い日差しに雪の照り返し。ほぼ無風状態で天気は最高。

目指す頂も見えてきて徐々にテンションも上がる。



←08 笈ヶ岳山頂

頂上手前の藪を抜けたら、笈ヶ岳山頂。

残雪期の今が登り易いとあってか日帰り装備で沢山の登山者が登って来ている。



09 最高の眺望→

霊峰白山は勿論、この日は遠く北アルプスまでも望むことが出来、360°の眺望を楽しむ。



←10 復路はトラバースルートで

帰りはトラバースルートでテント場まで戻った。



11 行きはヨイヨイ帰りは怖い！→

登りでも難儀した大岩からのロープが連続する急登は、重い荷物を背負った疲れた身体に堪える。登りと同じくらいの時間をかけ、慎重に下った。